

『不確実性の時代』の朝鮮半島と 日本の外交・安全保障

平成30年3月



公益財団法人日本国際問題研究所
The Japan Institute of International Affairs

はしがき

本報告書は、平成 29 年度外交・安全保障調査研究事業費補助金（発展型総合事業）「安全保障政策のボトムアップレビュー」プロジェクトの一端を担う『『不確実性の時代』の朝鮮半島と日本の外交・安全保障』研究会の研究成果を集成したものです。

日本国際問題研究所では、平成 29 年度より 3 年間の事業として本「安全保障政策のボトムアップレビュー」プロジェクトを実施しております。「ボトムアップレビュー」「ポスト・プーチンのロシアの展望」ならびに『『不確実性の時代』の朝鮮半島と日本の外交・安全保障』の 3 つの研究会より構成された本プロジェクトは、基本的に一年度をタームとして各研究会がそれぞれのテーマに対し定点観測的な分析を行って知見を深めるとともに、基本的な視角・観点を維持しつつ「腰を据えた」分析を長期間・反復的に重ねることにより、日本の外交・安全保障を考える上で重要な対象とイシューに対して「適時性」と「蓄積」の両面から学術的／政策的ニーズに応えることを目的に据えています。また 3 つの研究会はそれぞれ個別的・自律的な運営を基本としつつも、研究会での議論や成果について相互に随時紹介・交換しながら活動しており、各研究会が互いに刺激し合うことで単純な「並列化」に止まることなく相乗的な効果を実現できるよう図っています。

本報告書はプロジェクトのそのような活動より得られた知見のうち朝鮮半島パート、『『不確実性の時代』の朝鮮半島と日本の外交・安全保障』研究会の一年間の活動の結果を抽出・綴合したものととなります。本研究会は韓国・北朝鮮の現状を内政・経済・外交・安全保障といった様々な切り口から分析・考察することを直接的なタスクとしておりますが、それと同時に、そのような状況をふまえて日本としていかに対応・対処すべきかに関する政策的示唆を引き出し、もって本プロジェクトの全体的な問題意識である外交・安全保障政策の有効性・実効性の検証—いくなれば「動作確認」—に貢献するという役割も担っています。そのような目的意識のもとに編まれた本報告書が、朝鮮半島情勢に関するみなさまの知的好奇心を充足させるとともに、他の地域・イシューを含む外交・安全保障分野に対するより深い関心をも惹起することができましたならば、主宰者としてこれに勝る喜びはありません。本報告書が多くの方々の手にとられることを切に願う次第です。

なお、本報告書内の記述はすべて各パート執筆者の個人的見解に基づくものであり、日本国際問題研究所およびメンバー各員の所属先機関の意見を代表するものではありません。

最後に、ご多忙のなかプロジェクト／研究会にご参加いただいたメンバーの方々、そしてその実施のためにご尽力くださったすべてのみなさまに心より感謝申し上げます。

平成 30 年 3 月

公益財団法人 日本国際問題研究所
理事長 野上 義二

研究体制

主査：	小此木政夫	慶應義塾大学名誉教授
委員：	伊豆見 元	東京国際大学国際戦略研究所教授
	奥藪 秀樹	静岡県立大学大学院国際関係学研究科准教授
	倉田 秀也	防衛大学校教授／日本国際問題研究所客員研究員
	阪田 恭代	神田外語大学国際コミュニケーション学科教授
	西野 純也	慶應義塾大学法学部政治学科教授
	平井 久志	共同通信客員論説委員
	平岩 俊司	南山大学総合政策学部教授
	深川由起子	早稲田大学教授
	古川 勝久	元国連安保理北朝鮮制裁委員会専門家パネル委員
	堀田 幸裕	霞山会研究員
	三村 光弘	環日本海経済研究所調査研究部主任研究員
	渡邊 武	防衛省防衛研究所主任研究官
委員兼幹事：	相 航一	日本国際問題研究所所長代行
	中川 周	日本国際問題研究所研究調整部長
	飯村 友紀	日本国際問題研究所研究員
担当助手：	関 礼子	日本国際問題研究所研究助手

(敬称略、五十音順)

目 次

総論—「最大限の圧力」政策と「先南後米」政策 小此木 政夫 …… 1

第1部：韓国の政治・経済・外交の動向

(第1章 韓国内政分析 …別紙)

(第2章 韓国経済分析 …別紙)

第3章 文在寅政権の発足と韓国外交 西野 純也 …… 9

第4章 文在寅政権の自主が直面する不確実性：
政治競争と対米中関係 渡邊 武 …… 19

第2部：北朝鮮の脅威の実態と対応方案

第5章 北朝鮮の2017年国内政治 平井 久志 …… 27

(第6章 北朝鮮外交分析 …別紙)

第7章 北朝鮮の核態勢と対価値・対兵力攻撃能力
—弾道ミサイル開発の二系列— 倉田 秀也 …… 49

第8章 北朝鮮の核・ミサイル問題をめぐる日米韓外交・安全保障協力
—第三次核「危機」の現段階、2017年から2018年へ 阪田 恭代 …… 67

第3部：対北朝鮮経済制裁の実効性と課題

第9章 2017年の北朝鮮経済 三村 光弘 …… 85

第 10 章	対北朝鮮制裁の課題	古川 勝久 . . .	95
第 11 章	中朝関係—北朝鮮の「核武力完成」と中国	平岩 俊司 . . .	123
第 12 章	北朝鮮の核問題と中国の制裁対応	堀田 幸裕 . . .	133
第 13 章	「対制裁シフト」下における裁量権と統制の相剋 —金正恩体制期における「国産化」政策の含意を中心に—	飯村 友紀 . . .	145

